

# 2024 年度春季シンポジウム「持続可能な社会の実現に向けて」

## ～廃棄物分野における人材確保と育成～

### オンライン配信のご案内

廃棄物処理の目的は生活環境の保全と公衆衛生の向上である。その目的を達成するために処理計画を作成したり、廃棄物を収集・運搬し、リサイクルや焼却などの中間処理と処理残渣の埋立と言う最終処分に多くの人が関わっている。ごみの排出者である住民の理解と協力を得て住民の支払った税金を使って自治体のごみ処理を進めてきた。この様な中で、2024年度からトラック運転手の残業規制の強化で運転手の確保が難しくなるという「2024年問題」が心配である。しかも日本は人口減少で、ほぼあらゆる分野で人手不足が叫ばれている。そこで求められているのが、効率的なごみ収集・運搬と処理処分で、一人当たりのごみ処理経費を最小化するノウハウとその実行が求められている。本シンポジウムでは、廃棄物分野に必要な人材を確保し、育成することの重要性を指摘し、対策を考えてみたい。

#### 1. 開催日時：2024（令和6）年6月28日（金）14：00～17：00

開催当日の視聴が出来ない方は、オン・デマンドサービスにて7月1日以降7月末まで何時でも何回でも視聴可能です。

#### 2. 開催方法：無観客開催、オンライン中継配信

※参加には事前登録が必要です。参加者は視聴と資料の事前ダウンロードが出来ます。

#### 3. 定員：300名（配信拠点数制限で、定員になり次第締め切らせていただきます。）

#### 4. 事前登録申込締切：6月26日（水）

#### 5. 主催：(株)廃棄物工学研究所

#### 6. 後援：環境省（申請中）

#### 7. 協賛：(公財)廃棄物・3R研究財団、(公財)産業廃棄物処理事業振興財団、(一社)環境衛生施設維持管理業協会

#### 8. 協力：(一財)日本環境衛生センター、(公社)全国産業資源循環連合会、(公財)日本産業廃棄物処理振興センター、(一社)プラスチック循環利用協会、(一社)日本環境衛生施設工業会、(一社)廃棄物資源循環学会、(公社)全国都市清掃会議、(一社)日本産業機械工業会、(一社)持続可能社会推進コンサルタント協会、(一社)廃棄物処理施設技術管理協会、ごみ焼却余熱有効利用促進市町村等連絡協議会、有害・医療廃棄物研究会、産業廃棄物処理業経営塾OB会、フォーラム環境塾・NPO法人都市環境フォーラム

#### 9. 事前登録費：上記協賛協力団体の会員：6,600円、非会員：13,200円、自治体職員：4,400円、学生：2,200円（消費税を含む）

#### 10. プログラム

時間	講演内容	講演者
14:00～14:15 15分	オープニング・スピーチ シンポジウムの企画の背景	(株)廃棄物工学研究所代表 田中勝
14:15～15:00 45分	基調講演：能登半島地震による災害廃棄物の対応等	環境省 環境再生・資源循環局 廃棄物適正処理推進課・課長 松崎裕司氏
15:00～15:30 30分	地方行政解説：広島市におけるごみ焼却体制の確保と人材育成について（仮題）	広島市環境局施設部工務課・課長 梶本浩二氏
15:30～15:40	休憩	
15:40～16:10 30分	提言：ごみ処理に欠かせない重要な視点～循環型社会形成への30年間の取組みから	健康・環境デザイン研究所・所長 中村恵子氏
16:10～16:40 30分	提言：焼却工場付帯の環境学習施設の役割と活用	大阪産業大学デザイン工学科准教授 花嶋温子氏
16:40～17:00 20分	クロージング・リマーク	(株)廃棄物工学研究所代表 岡山大学名誉教授 田中勝

お問合せ先：運営事務局 (株)廃棄物工学研究所(担当：石井) Tel/Fax 086-239-5303

※事前登録の申込用紙は、(株)廃棄物工学研究所ホームページ(<http://www.riswme.co.jp>)からダウンロードいただけます。